

**平成 28 年社会生活基本調査
生活時間に関する結果**

沖縄県結果の概要

平成 29 年 10 月 6 日

沖縄県企画部統計課

- 社会生活基本調査とは -

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、仕事や家庭生活に費やされる時間、地域活動等への関わりなどの実態を明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とし、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施しており、今回の調査は9回目に当たります。

平成28年社会生活基本調査は全国の世帯から無作為に選定された調査区に居住する10歳以上の世帯人員（本県では約1,600世帯、約4,000人）を対象に平成28年10月20日現在で実施されました。

本資料は、総務省統計局が公表した調査結果から、沖縄県の結果をまとめたものです。

- 利用上の注意 -

- 1 特に曜日の指定のないものは、1日の生活時間（週全体平均）の数値を記載しています。
- 2 生活時間は、総平均時間（該当する種類の行動をしなかった人を含む全員の平均）を記載しています。
- 3 統計表の数字は、表章単位未満の位で四捨五入しており、また、総数に「不詳」の数を含むことから、総数と内訳を合計した数値とは必ずしも一致しません。
- 4 統計表中「0」は、集計した数値が表章単位に満たないものです。
- 5 統計表中「-」は、該当数字のない箇所です。
- 6 統計表中「・・・」は、サンプルサイズが10未満で、結果制度の観点から表章していない箇所です。

- 目次 -

1	1日の生活時間の配分	1
2	家事関連時間	3
3	仕事	4
4	在学者	5
5	スマートフォン・パソコンなどの使用状況	6
6	主な活動の平均時間	7

- 主な用語 -

- 1次活動
睡眠、食事など生理的に必要な時間
- 2次活動
仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
- 3次活動
1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

1 1日の生活時間

(1) 1次活動及び2次活動時間は増加、3次活動時間は減少

本県に住んでいる10歳以上の人について、行動の種類別に週全体平均(以下「週全体」という。)による1日の生活時間をみると、1次活動時間が10時間36分、2次活動時間が7時間11分、3次活動時間が6時間13分となっています。

平成23年と比べると、1次活動は1分増加、2次活動は8分増加、3次活動は8分減少となっています。(表1-1)

平成23年と比べると休養・くつろぎの時間は10分の増加と最も増加が大きくなっており、交際・付き合いの時間は8分の減少と最も減少が大きくなっています。通勤・通学の時間が4分の増加、受診・療養の時間が5分の減少などとなっています。(表1-1)

表1-1 男女、行動の種類別生活時間(平成23年、28年)一週全体

(時間、分)

	総数			男			女		
	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減
1次活動	10.35	10.36	0.01	10.32	10.35	0.03	10.38	10.36	-0.02
睡眠	7.42	7.41	-0.01	7.49	7.49	0	7.36	7.33	-0.03
身の回りの用事	1.15	1.17	0.02	1.08	1.11	0.03	1.23	1.23	0
食事	1.37	1.38	0.01	1.35	1.39	0.04	1.40	1.40	0
2次活動	7.03	7.11	0.08	6.43	6.49	0.06	7.23	7.32	0.09
通勤・通学	0.26	0.30	0.04	0.31	0.35	0.04	0.22	0.26	0.04
仕事	3.42	3.43	0.01	4.41	4.40	-0.01	2.45	2.49	0.04
学業	0.50	0.51	0.01	0.53	0.52	-0.01	0.47	0.49	0.02
家事	1.22	1.19	-0.03	0.17	0.17	0	2.25	2.18	-0.07
介護・看護	0.05	0.05	0	0.02	0.01	-0.01	0.08	0.09	0.01
育児	0.17	0.20	0.03	0.07	0.10	0.03	0.26	0.30	0.04
買い物	0.21	0.23	0.02	0.12	0.14	0.02	0.30	0.31	0.01
3次活動	6.21	6.13	-0.08	6.46	6.36	-0.10	5.58	5.51	-0.07
移動(通勤・通学を除く)	0.26	0.26	0	0.23	0.24	0.01	0.28	0.28	0
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.22	2.20	-0.02	2.31	2.34	0.03	2.15	2.07	-0.08
休養・くつろぎ	1.23	1.33	0.10	1.27	1.36	0.09	1.19	1.30	0.11
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.13	0.12	-0.01	0.14	0.11	-0.03	0.13	0.12	-0.01
趣味・娯楽	0.38	0.35	-0.03	0.48	0.42	-0.06	0.27	0.29	0.02
スポーツ	0.17	0.17	0	0.21	0.22	0.01	0.14	0.12	-0.02
ボランティア活動・社会参加活動	0.04	0.03	-0.01	0.05	0.03	-0.02	0.03	0.04	0.01
交際・付き合い	0.27	0.19	-0.08	0.30	0.18	-0.12	0.25	0.21	-0.04
受診・療養	0.12	0.07	-0.05	0.09	0.06	-0.03	0.14	0.08	-0.06
その他	0.19	0.20	0.01	0.18	0.20	0.02	0.20	0.21	0.01
(再掲)									
家事関連 1)	2.05	2.07	0.02	0.38	0.42	0.04	3.28	3.28	0
休養等自由時間活動 2)	3.45	3.53	0.08	3.58	4.10	0.12	3.34	3.37	0.03
積極的自由時間活動 3)	1.12	1.07	-0.05	1.28	1.18	-0.10	0.57	0.57	0.00

1) 家事、介護・看護、育児及び買い物

2) テレビ・ラジオ・新聞・雑誌及び休養・くつろぎ

3) 学習・自己啓発・訓練(学業以外)、趣味・娯楽、スポーツ及びボランティア活動・社会参加活動

(2) 女性の3次活動は全ての曜日で減少

生活時間を曜日別にみると1次活動時間及び3次活動時間は日曜日が最も長く、2次活動時間は平日が最も長くなっています。

平成23年と比べると1次活動時間は土曜日及び日曜日で増加、平日で減少。2次活動時間は平日で増加、土曜日及び日曜日で減少。3次活動時間は土曜日で増加、平日及び日曜日で減少しています。(表1-2)

表1-2 男女、行動の種類、曜日別生活時間(平成23年、28年)

		平成23年			平成28年			全国(平成28年)		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	1次活動	10.26	10.47	11.09	10.22	10.59	11.24	10.28	11.03	11.28
	2次活動	7.52	5.34	4.32	8.06	5.20	4.30	7.50	5.13	4.14
	3次活動	5.42	7.39	8.19	5.33	7.42	8.07	5.43	7.44	8.19
男	1次活動	10.24	10.40	11.03	10.21	10.56	11.27	10.19	10.57	11.24
	2次活動	7.38	5.04	3.43	7.54	4.43	3.26	7.57	4.44	3.24
	3次活動	6.58	8.16	9.14	5.45	8.21	9.07	5.44	8.19	9.12
女	1次活動	10.28	10.53	11.14	10.23	11.02	11.20	10.36	11.09	11.31
	2次活動	8.04	6.03	5.19	8.16	5.55	5.31	7.43	5.41	5.01
	3次活動	5.28	7.04	7.27	5.21	7.03	7.09	5.41	7.10	7.28

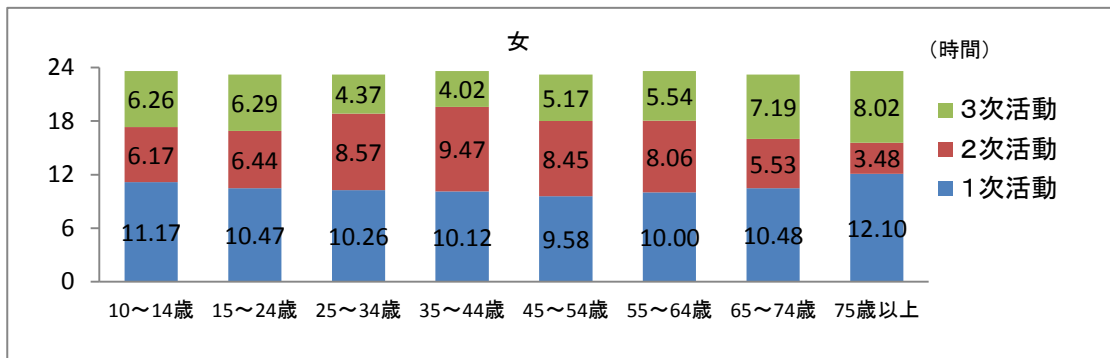
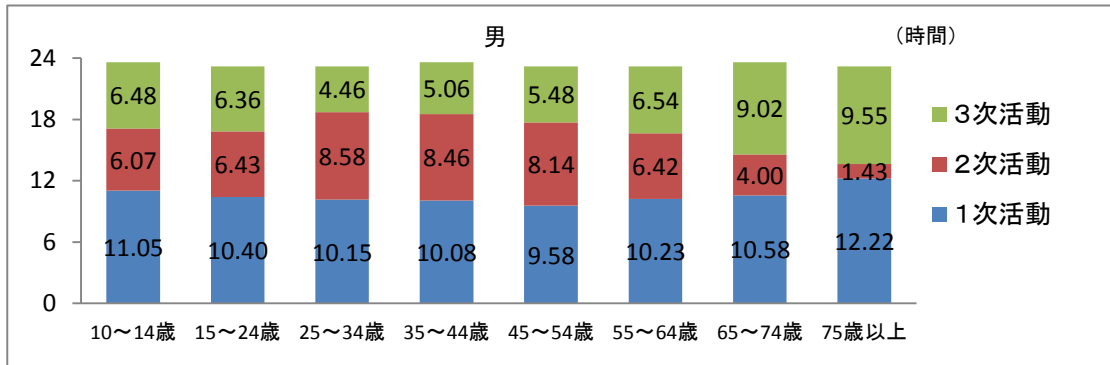
(3) 2次活動時間は男性25歳~34歳、女性35歳~44歳が最も長い

生活時間を年齢階級別にみると、1次活動時間は、男女共に75歳以上が最も長く、45歳~54歳が最も短くなっています。

2次活動時間は、男性25歳~34歳、女性35歳~44歳が最も長く、男女とも75歳以上が最も短くなっています。

3次活動時間は、男女共に75歳以上が最も長く、男性25歳~34歳、女性35歳~44歳が最も短くなっています。(図1)

図1 男女、年齢階級、行動の種類別生活時間一週全体



2 家事関連時間

家事関連時間は増加傾向、男女差は縮小しているが依然として大きい

家事関連時間¹⁾を男女別に全国と比べると、男性は25歳～34歳、45歳～54歳などで全国より高くなっています。一方、女性は25歳～34歳、75歳以上などで全国より高くなっています。(図2)

家事関連時間を男女別に平成23年と比べると、男性は42分で4分の増加、女性は3時間28分で1分の減少となっています。

家事関連時間の内訳を男女別に平成23年と比べると、男性は育児時間が3分、買い物時間が2分の増加となっていますが、介護・看護時間が1分の減少となっています。一方、女性は育児時間が4分の増加となっていますが、家事時間が7分減少となっています。(表2)

図2 男女、年齢階級別家事関連時間(平成23、28年)一週全体

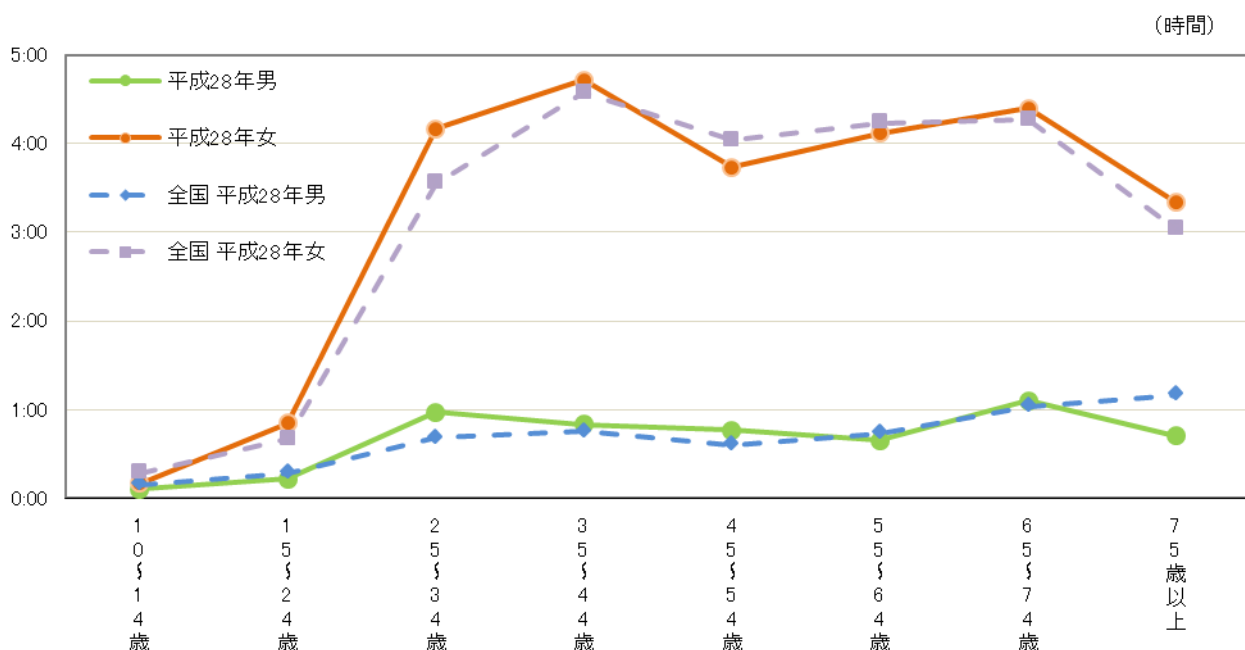


表2 男女別家事関連時間一週全体

		(時間、分)								
		総数			男			女		
		平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減
沖縄県	家事関連	2.05	2.07	0.02	0.38	0.42	0.04	3.29	3.28	-0.01
	家事	1.22	1.19	-0.03	0.17	0.17	0	2.25	2.18	-0.07
	介護・看護	0.05	0.05	0	0.02	0.01	-0.01	0.08	0.09	0.01
	育児	0.17	0.20	0.03	0.07	0.10	0.03	0.26	0.30	0.04
	買い物	0.21	0.23	0.02	0.12	0.14	0.02	0.30	0.31	0.01
全国	家事関連	2.10	2.08	-0.02	0.42	0.44	0.02	3.35	3.28	-0.07
	家事	1.27	1.23	-0.04	0.18	0.19	0.01	2.32	2.24	-0.08
	介護・看護	0.03	0.04	0.01	0.02	0.02	0	0.05	0.06	0.01
	育児	0.14	0.15	0.01	0.05	0.06	0.01	0.23	0.24	0.01
	買い物	0.26	0.26	0	0.17	0.17	0	0.35	0.34	-0.01

1) 「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」

3 仕事

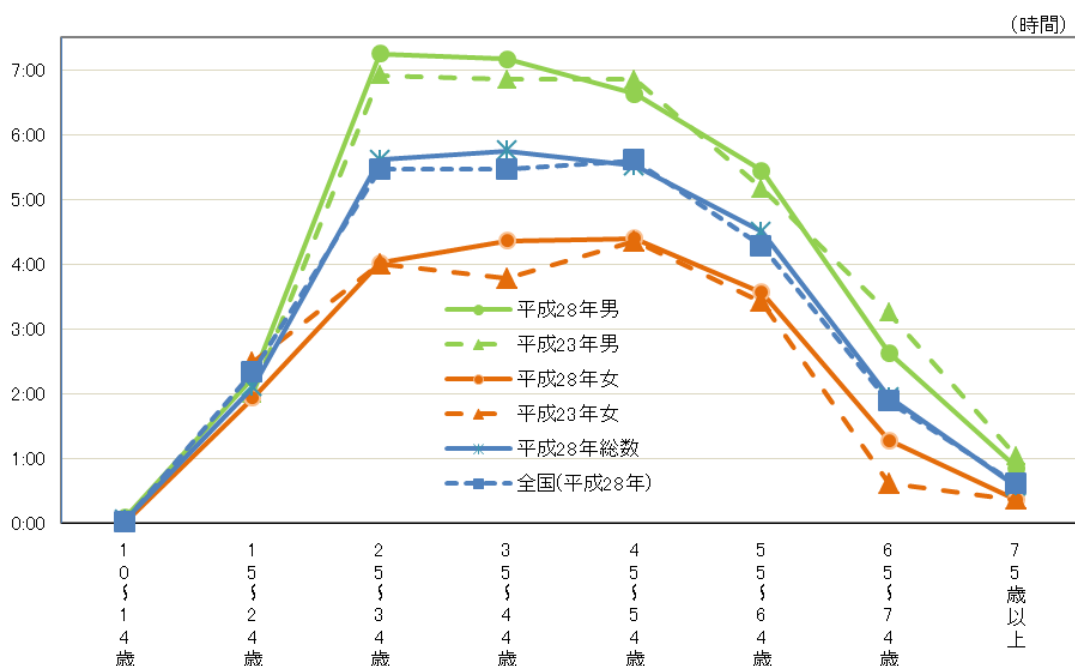
仕事時間は男性が25歳～34歳、女性が45歳～54歳で最も長い

沖縄県の仕事時間(15歳以上/有業者)を年齢階級別にみると、35歳～44歳が最も高く、次いで25歳～34歳となっています。男性は25～34歳、女性は45～54歳が最も高くなっています。

(図3)

雇用されている人は61万2千人で平成23年と比べ、7万3千人の増加で、その内訳は男性3万1千人、女性4万1千人の増加となっています。(表3)

図3 男女、年齢階級別仕事時間(平成23、28年)一週全体



注) 平成23年、男女、10～14歳は該当数字なし

表3 男女、雇用形態別仕事時間(平成23年、28年)一週全体、雇用されている人、15歳以上

		平成23年		平成28年		増減	
		有業者数 (千人)	仕事時間 (時間、分)	有業者数 (千人)	仕事時間 (時間、分)	有業者数 (千人)	仕事時間 (時間、分)
総数	雇用されている人	539	6.29	612	6.09	73	-0.20
	正規の職員・従業員	280	7.15	340	7.00	60	-0.15
	正規の職員・従業員以外	259	5.40	273	5.04	14	-0.36
	パート	94	5.06	100	4.08	6	-0.98
	アルバイト	66	4.57	66	4.59	0	0.02
男	雇用されている人	281	7.10	312	7.02	31	-0.08
	正規の職員・従業員	186	7.32	215	7.33	29	0.01
	正規の職員・従業員以外	95	6.29	97	5.50	2	-0.39
	パート	8	6.44	11	4.37	3	-2.07
	アルバイト	40	5.22	34	5.35	-6	0.13
女	雇用されている人	259	5.44	300	5.14	41	-0.30
	正規の職員・従業員	95	6.40	124	6.05	29	-0.35
	正規の職員・従業員以外	164	5.12	176	4.38	12	-0.34
	パート	85	4.57	89	4.08	4	-0.49
	アルバイト	26	4.14	33	4.18	7	0.04

4 在学者

(1) 2次活動時間が最も長く、3次活動時間が最も短い大学生

在学者（10歳以上。以下同じ。）について、生活時間を在学する学校の種類・学年別にみると、1次活動時間は、最も長いのは専門学生の11時間37分、最も短いのは高校2年生の10時間8分で、2次活動時間は、最も長いのは大学生の8時間38分、最も短いのは高校1年生の5時間47分で、3次活動時間は、最も長いのは中学2年生の7時間49分、最も短いのは大学生の4時間57分となっています。

また、2次活動時間と3次活動時間を比べると、中学3年生、短大・高専、大学で2次活動時間が3次活動時間より長くなっています。（図4、表4-1）

図4 在学する学校の種類・学年、行動の種類別生活時間一週全体、在学者

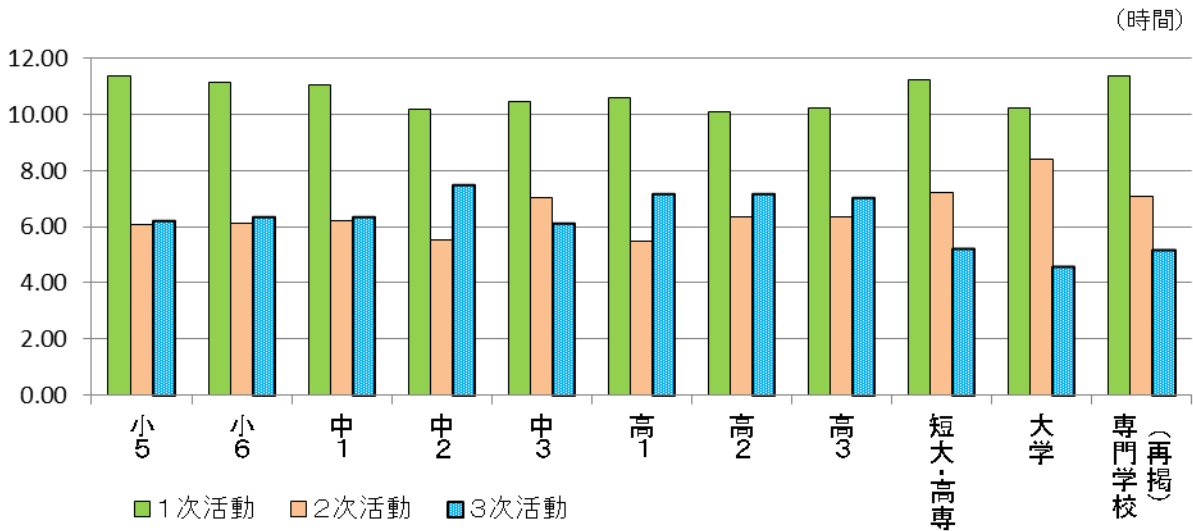


表4-1 在学する学校の種類・学年、行動の種類別生活時間一週全体、在学者

	小学 (10歳以上)			中学			高校			短大・高専	大学	(再掲) 専門学校
	うち5年生	うち6年生		1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生			
1次活動	11.40	11.35	11.12	10.46	11.03	10.17	10.43	10.28	10.58	10.08	10.24	11.37
睡眠	9.00	9.02	8.48	8.11	8.24	7.47	8.13	7.44	8.09	7.35	7.42	7.51
身の回りの用事	1.10	1.03	1.06	1.11	1.17	1.08	1.10	1.12	1.11	1.06	1.09	2.10
食事	1.30	1.30	1.18	1.24	1.22	1.22	1.20	1.31	1.38	1.27	1.32	1.35
2次活動	6.03	6.06	6.11	6.39	6.21	5.54	7.04	6.19	5.47	6.34	6.34	7.08
通勤・通学	0.26	0.20	0.28	0.34	0.26	0.28	0.41	0.41	0.35	0.46	0.48	0.48
仕事	-	-	-	0.05	0	-	0.10	0.28	0.12	0.34	0.31	1.09
学業	5.29	5.36	5.37	5.48	5.44	5.21	5.51	4.46	4.41	5.01	5.09	4.14
家事関連 ¹⁾	0.08	0.10	0.06	0.12	0.10	0.04	0.21	0.23	0.20	0.13	0.06	0.58
3次活動	6.17	6.19	6.37	6.35	6.36	7.49	6.13	7.13	7.15	7.17	7.02	5.15
休養等自由時間活動 ²⁾	2.46	2.47	3.00	2.52	2.56	3.04	3.19	3.08	3.05	3.20	2.38	2.10
積極的自由時間活動 ³⁾	2.29	2.25	2.32	2.42	2.46	3.38	1.51	2.48	2.41	3.13	2.53	1.39
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.39	0.38	0.29	0.39	0.46	0.14	0.42	0.57	0.43	1.03	1.30	0.39
趣味・娯楽	0.55	0.55	0.56	0.44	0.37	0.52	0.46	1.00	0.50	1.06	0.51	0.55
スポーツ	0.53	0.50	1.04	1.16	1.23	2.21	0.22	0.48	1.06	1.03	0.31	0.03
ボランティア活動・社会参加活動	0.02	0.02	0.03	0.03	-	0.11	0.01	0.03	0.02	0.01	0.01	0.02
交際・付き合い	0.15	0.14	0.12	0.19	0.14	0.19	0.24	0.24	0.19	0.14	0.42	1.04
他の3次活動	0.47	0.54	0.52	0.43	0.39	0.48	0.40	0.53	1.11	0.31	0.49	0.22

1) 家事、介護・看護、育児及び買い物

2) テレビ・ラジオ・新聞・雑誌及び休養・くつろぎ

3) 学習・自己啓発・訓練(学業以外)、趣味・娯楽、スポーツ及びボランティア活動・社会参加活動

(2) 学業時間は中学3年生が最も長い

在学者の学業時間をみると、中学3年生が5時間 51分と最も長く、次いで中学1年生が5時間 44分などとなっています。

男女別にみると、男性は5時間 15分、女性は5時間 17分と女性が2分長くなっています。

これを在学する学校の種類・学年別にみると、高校3年生と短大・高専で男女の差が大きくなっています。(表5-2)

表4-2 男女、在学する学校の種類・学年別学業時間一週全体、在学者

	総数	(時間、分)													
		小学 (10歳以上)			中学			高校			短大・ 高専	大学	(再掲) 専門 学校		
		うち 5年生	うち 6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生						
総数	5.15	5.29	5.36	5.37	5.48	5.44	5.21	5.51	4.46	4.41	5.01	5.09	4.53	3.37	4.14
男	5.15	5.21	5.34	5.19	5.41	5.52	5.48	5.31	5.14	4.43	5.12	6.06	4.06	3.53	4.30
女	5.17	5.43	5.44	5.27	5.51	5.33	4.58	6.05	4.22	4.26	4.41	4.46	5.35	3.24	5.14
男女差	-0.02	-0.22	-0.10	-0.08	-0.10	0.19	0.50	-0.34	0.52	0.17	0.31	1.20	-1.29	0.29	-0.44

5 スマートフォン・パソコンなどの使用状況

(1) スマートフォン・パソコンなどを使用した人の割合は男女共に50%を超える

スマートフォン・パソコンなどを使用した人の割合¹⁾(以下「使用割合」)は、男性が53.4%、女性が55.0%となっています。男女、年齢階級別にみると、男性は25~29歳、女性は15~19歳で最も高くなっています。

男女共に、10歳~54歳の年齢階級で使用割合は50%を超えています。

表5-1 男女、年齢階級別スマートフォン・パソコンなどを使用した人の人数及び割合
(平成28年)一週全体

	男			女		
	人口 (千人)	使用した人 (千人)	使用割合	人口 (千人)	使用した人 (千人)	使用割合
総数	603	322	53.4%	627	345	55.0%
10~14歳	42	24	57.1%	39	24	61.5%
15~19歳	42	35	83.3%	40	35	87.5%
20~24歳	36	32	88.9%	35	29	82.9%
25~29歳	38	34	89.5%	39	32	82.1%
30~34歳	44	29	65.9%	46	37	80.4%
35~39歳	46	34	73.9%	48	40	83.3%
40~44歳	53	38	71.7%	53	41	77.4%
45~49歳	48	26	54.2%	48	33	68.8%
50~54歳	42	22	52.4%	43	27	62.8%
55~59歳	45	21	46.7%	45	18	40.0%
60~64歳	48	10	20.8%	47	14	29.8%
65~69歳	45	12	26.7%	45	9	20.0%
70~74歳	23	2	8.7%	25	3	12.0%
75歳以上	52	3	5.8%	75	2	2.7%

注) ここでいう「スマートフォン・パソコンなど」とはスマートフォン・パソコンのほか、スマートフォン・パソコン以外の携帯電話、タブレット型端末を含む。

注) ここでいう「スマートフォン・パソコンなどの使用」とは、学業、仕事以外の目的で使用した場合をいう。

1) スマートフォン・パソコンなどの使用割合は、人口に占めるスマートフォン・パソコンなどを使用した人の割合を算出

(2) スマートフォン・パソコンなどの使用時間の割合は、1～3時間未満が最も多い

スマートフォン・パソコンなどの使用時間の割合は、男女共に1～3時間未満が最も高く、女性の20～24歳年齢階級では、6時間以上が25%を超え、使用時間が長い傾向がみられます。(表5-2)

表5-2 男女、年齢階級別スマートフォン・パソコンなどの使用時間構成比(平成28年)
一週全体、スマートフォン・パソコンなどを使用した人

	男					女				
	1時間未満	1-3時間未満	3-6時間未満	6-12時間未満	12時間以上	1時間未満	1-3時間未満	3-6時間未満	6-12時間未満	12時間以上
総数	30.7%	39.4%	21.4%	6.5%	0.9%	40.1%	41.3%	17.1%	4.0%	2.5%
10～14歳	1.9%	3.7%	1.2%	0.3%	...	2.5%	2.5%	1.6%	0.6%	...
15～19歳	0.9%	3.4%	4.7%	1.2%	...	2.8%	4.0%	2.8%	0.6%	0.6%
20～24歳	1.6%	2.8%	3.4%	1.9%	...	1.2%	2.8%	2.2%	1.2%	1.2%
25～29歳	0.9%	5.9%	3.1%	...	-	2.5%	5.0%	2.2%
30～34歳	2.5%	3.7%	1.9%	0.6%	...	3.1%	5.3%	2.8%
35～39歳	2.5%	5.6%	1.9%	4.7%	5.3%	1.9%	...	-
40～44歳	5.3%	4.0%	1.9%	5.0%	6.2%	0.9%
45～49歳	4.3%	1.9%	1.2%	...	-	4.3%	4.3%	1.2%	...	-
50～54歳	4.0%	2.5%	5.0%	2.5%	0.6%	-	-
55～59歳	2.8%	2.5%	0.9%	...	-	3.7%	1.2%
60～64歳	1.6%	0.9%	0.3%	-	-	2.5%	0.9%	...	-	-
65～69歳	1.6%	1.6%	...	-	-	1.2%	1.2%	-
70～74歳	-	...	-	0.6%	...	-	...	-
75歳以上	0.6%	-	-	-	...	-

6 主な活動の平均時間

全ての曜日で女性が男性より早起き

平日の平均起床時刻は6時36分で、土曜日が29分、日曜日が56分それぞれ遅くなっており、平日の平均就寝時刻は23時16分で土曜日が4分遅く、日曜日が1分早くなっています。

全国と比較すると、全ての項目で開始時刻が遅くなっています。(表6-1)

平均出勤時刻をみると、平日の出勤時刻は8時34分で全国より10分遅くなっており、帰宅時刻は18:44分で全国より9分早いなどとなっています(表6-2)

表6-1 曜日別、起床・就寝及び朝食・夕食開始の平均時刻(総数 10歳以上)
(時、分)

		起床	朝食開始	夕食開始	就寝
沖縄県	平日	6:36	7:14	19:19	23:16
	土曜日	7:05	7:37	19:10	23:20
	日曜日	7:32	7:51	19:07	23:15
全国	平日	6:32	7:07	19:05	23:12
	土曜日	7:01	7:28	18:49	23:13
	日曜日	7:09	7:37	18:43	23:01

表6-2 平均出勤時刻及び平均帰宅時刻(総数 有業者)

		総数		男		女	
		出勤	帰宅	出勤	帰宅	出勤	帰宅
沖縄県	平日	8:34	18:44	8:30	19:19	8:38	17:57
	土曜日	9:09	18:33	8:41	18:40	9:47	18:21
	日曜日	9:43	18:51	9:27	19:02	10:05	18:35
全国	平日	8:24	18:53	8:04	19:31	8:52	17:59
	土曜日	8:48	18:17	8:29	18:42	9:17	17:40
	日曜日	9:35	18:47	9:26	19:08	9:48	18:17